

# 大障教ニュース

大阪府立障害児  
学校教職員組合



ホームページ

大障教は大阪の障害児教育をより発展させていくため  
みなさんの加入を心よりお待ちしております



# あなたも大障教へ

## いい教育がしたい! 安心してはたらきつづけたい!

新年度がスタートしました。大障教(大阪府立障害児学校教職員組合)は、府立支援学校の教育条件整備と教職員の労働条件の改善、障害者福祉の充実などを大きな柱として、2026年度も運動をすすめていきます。ぜひ、大障教のとりくみへの協力を、この機会にひとりでも多くの教職員のみなさんが組合員として、私たちの運動に参加していただくことを、心から呼びかけます。

### 大変な時こそ組合の出番!

教職員組合は、職場の仲間がさまざまな願いを持ち寄ってつながり合い、みんなで語り合い学び合う活動をする組織です。教育条件の前進や労働条件の改善に向けて、教育予算の増額や支援学校建設などを求める活動に、父母や府民、全国の仲間のみなさんと力を合わせてとりくんできました。

昨年度は、3年連続全世界での「給料表の改定・一時金引上げ」「会計年度任用職員の賃金単価改定」「駐車場等の利用に対する通勤手当の新設」「非常勤講師の服務日以外の公費による結核検診実施」

などの要求を実現させることができました。

### 新転任歓迎行事にぜひご参加ください

4月18日に、「子どもとかがわる楽しさ」発達の視点で「給料表の改定・一時金引上げ」と題して、赤木和重さん(神戸大学大学院教授)を講師に迎えて新転任教員をおこないます。「子ども」をもちとわりたい! 「やさしい授業をつくりたい」

「発達について学びたい」など、みなさんの思いに添える内容です(詳細はホームページを、職場で配付されるビラをご覧ください。申込みは、分会長もしくは大障教まで)。

また4月29日には、スポー

## 子どもたちの笑顔あふれる学校 教職員の働きやすい職場を みんなでつくろう



大障教執行委員長  
西面 友史

府立支援学校に勤める教職員のみなさま、2026年度着任を歓迎致します。

新たな学校に赴任された教職員のみなさん、引き続き同じ学校に勤める教職員のみなさん、初任の先生等、さまざまな環境で新年度を迎えられたことと思います。

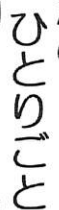
新しい環境に慣れるまでは、子どもたちとのかわり方、授業のすすめ方、保護者との対応など、思い悩むことも多いのではないかと思います。そういう時は、決して一人でかかえこまず、まわりの先輩や、同期のなかまに気軽に相談しながら、少しずつ解決していきましょう。大阪の障害児学校現場では、「過大・過密」

「教室不足」「教員不足」が深刻化する中で、大阪府は財政難を口実に教育予算を年々削減し、教職員を管理・統制する動きをつよめています。だからこそ、子どもたち一人ひとりを大切に教育条件整備や、教職員が協力しあい安心して仕事に専念できる労働条件の改善など、私たち自身が声をあげることがよりよい学校づくりにつながっていきます。

大障教は、多くの教職員や父母・府民のみなさんとも力をあわせ、子どもたちの笑顔あふれる学校、教職員の働きやすい職場づくりを実現するために活動をしています。なかまとながら、みなさんの思いや声を束ねていきましょう。多くの方々に大障教へご加入いただけることを心より願っています。

大阪府立障害児学校教職員組合 大阪市天王寺区東高津町7-11府教育会館704号 TEL 06-6765-8904 FAX 06-6765-8905

### 書記局の カズシユウ



筆者は学校の日々を短文にしています。  
障(こわ)りある あなたは今日より高校生

はじめて締めるネクタイは紺

1年前の4月8日、入学式の日につづった短文です。今年、教師として30数回目となる4月を迎え、特有の浮き立つ気分を味わっています。私が初任者であった時のことをふと思い起こしたのですが、4月1日、職場の先輩に誘われ、すぐに教職員組合に入りました。初めて参加した組合行事が大障教青年部主催の新転任歓迎教研(新転任教研)でした。この日の新転任教研の講師は竹沢清さん。竹沢さんは当時、愛知県立千種豊学校の教員で、重複障害の児童を担任していました。竹沢さんの実践との出会いは私にとっては衝撃的で、以来竹沢さんの著書に繰り返し立ち返りながら、教師人生を歩んできました。竹沢さんの『教育実践は子どもの発見』をいま繙(ひもと)いていますが、次のようなくだりがあります。

いつもワンテンポ遅れてしか行動できない子に対して、「モタモタしている」ととらえるか、「たじろいでいる」ととらえるかによって実践は決定的に違ってくる。モタモタは外からのとらえ方、たじろぐは内面に即したとらえ方です。問題行動に対して、躊躇する人(教師)がしばしば「甘い」と批難されるが、そうでしょうか。躊躇は、子どもの論理に耳を傾けようとするから生まれるのではないのでしょうか。竹沢実践から私が学んだことは、子どもの内面の葛藤に心を寄せることの大切さでした。今年の新転任教研は4月18日、講師は神戸大学大学院教授の赤木和重さん。赤木さんは自閉症児教育の専門家で、現場で様々な子どもたちと出会い、教師や保育者と話し合い、研究活動を進めてこられています。新転任の皆さん、新転任教研に参加し、仲間とともに学びつつ、子どもと教育を考える出発点としませんか。会場でお会いしましょう。(S)

# 関係各校の現状の課題をふまえた教育条件整備を

## 「府立視覚支援学校、聴覚支援学校の教育条件整備に関する要望書」を提出

3月25日、大障教は教育長あてに「府立視覚支援



要望書を手交する西面委員長

学校、聴覚支援学校の教育条件整備に関する要望書」を提出しました。

昨年、6月23日に教育委員会会議で「今後における府立視覚支援学校、聴覚支援学校のあり方について」が、大阪府学校教育審議会（以下、「府学教審」）に諮問されることが決定して

以降、大障教は、視覚支援分会、聴覚支援分会、寄宿舎教員部とともに対策会議を立ち上げ、「府学教審」

の審議内容を注視してきました。「府学教審」での4回の審議を経て、1月14日に公表された「答申」をもとに、大阪の視覚支援学校と聴覚支援学校に関する

施策の具体化が進められることを受け、大障教は1月26日に答申に対する執行員会見を発表しました。

加えて、今回提出した要望書は、答申に反映されていない府立視覚支援学校および聴覚支援学校で学ぶ児童・生徒やその保護者、教職員などの意見を幅広く聴

取するとともに、関係各校の現状の課題をふまえた教育条件整備の内容を施策に取り入れることを求めて、とりまとめたものです。

対策会議・事務局より要望書の主旨を説明し、西面委員長が要望書の手交をおこないました。そのあと視覚支援・聴覚支援の全分会の参加者から現場の実態と各校がこれまで積みあげてきた専門性を継承しつつ、さらに発展するために必要な教育条件整備の要望について訴えました。

北視覚支援分会は、70年近くなる施設の早急な現地での建て替えや寄宿舎の充実などについて訴えました。中央聴覚支援分会は、



現場の実態と要望を訴える各分会の参加者

早期教育の充実や立地も教育条件の一つであり、他の障害種校との併置ではなく、現地での建て替えなどを訴えました。生野聴覚支援分会は、聴覚支援3校の絶妙なバランスのなかで均衡している現状の校区のバランスを崩さない柔軟な対応とともに、専門性を維持・継承するための人員配置について訴えました。だいせん聴覚支援分会は、手話の養成講習の実施や児童・生徒の求めに応じて授業での手話通訳の配置、寄宿舎の設

置、通学保障、校舎の建て替えなどについて訴えました。堺聴覚支援分会は、老朽化した校舎の整備活用しつつ現地での建て替え、通学保障としての寄宿舎の設置などを訴えました。南視覚支援分会は、早期教育の充実や寄宿舎未設置の学校への新設を含め寄宿舎を充実させるための条件整備として、入舎基準の改善や寄宿舎指導員の採用選考再開などを訴えました。

### 集まれば元気！分会のとりくみ

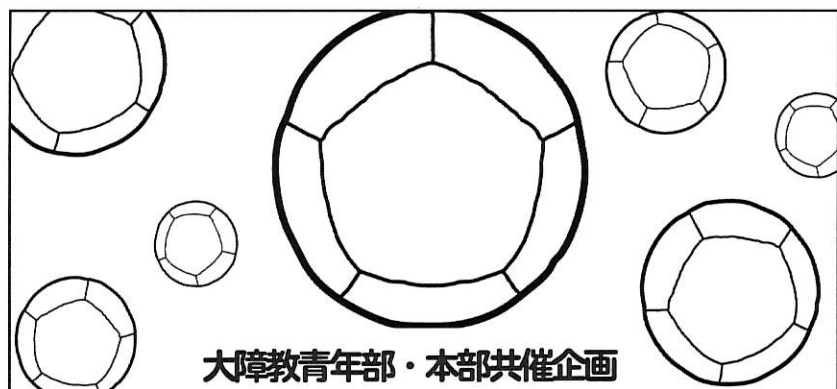
守口支援分会では、4月3日に新転任歓迎昼食会をおこないました。昨年好評だった「おいしいお弁当」を注文し、総勢38人でわいわいと食事をしながら交流をすることができました。



分会からは、「守口支援学校の『過大・過密』を解消し、子どもたちが安心して学べる環境整備のために、みんなで力を合わせていきましょう！」と分会長より挨拶をしました。青年部からは、今年度久しぶりに復活する大障教青年部主催スポーツレク企画への参加呼びかけをしました。続いて新転任の先生方からは、趣味や好きな物紹介等を交えた自己紹介をおこない、短い休憩時間でしたが、緊張続きの新年度にほっと一息をつける貴重な機会となりました。（守口支援分会 和田 裕二）

## Let's ボッチャベースボール!

誘い合ってご参加ください!! 😊



大障教青年部・本部共催企画

## 授業作りに活かせる スポーツレク大会

ボッチャベースボールで教材研究+親睦を深めましょう!

4月29日(水) 10:00~15:00

9:30受付開始です。昼食は各自でご用意ください。

場所：枚方支援学校体育館

京阪交野線村野駅より徒歩4分(南へ300m)

校内駐車はできません。できるだけ公共交通機関でお越しください。

お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

5名以上のチームを結成して、  
QRコードより申し込んでください。  
(4月20日/切)

